

2021年9月28日

セコム株式会社

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」において 警備の中核を担い「安全・安心」な開催に貢献

セコム株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：尾関一郎）は、7月23日（金）から9月5日（日）にかけて開催された「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」（以下、東京 2020 大会）の警備を担当し、「安全・安心」な開催に貢献しました。



©2021-IOC-All rights reserved.Tokyo2020



©2021-IOC-All rights reserved.Tokyo2020

会場内および手荷物検査場などの警備を中心に担当

セコムは今大会に「オフィシャルパートナー（セキュリティサービス&プランニング）」として協賛。オリンピック・パラリンピック競技大会の警備体制として、また日本の民間警備において史上初となるJV方式の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会警備共同企業体」を設立。共同代表として中心的な役割を果たし、全都道府県から553社・約47万人が参加するオールジャパン体制を構築しました。

セコムは警備責任会社として13の会場を担当したほか、約30カ所の競技会場・関連施設の警備も担当。これまでの大規模イベント警備で培ったノウハウを活用し、経験豊富な警備員を中心に約3,200名を動員しました。

警備においては、警備員が装着するウェアラブルカメラや同カメラからの映像、位置情報などを一元管理する「警備指揮システム」を活用したほか、外部からの侵入監視、一部会場では上空からの監視を実施。さらに、手荷物検査場や車両検査場におけるセキュリティチェック、巡回警備、沿道警備、交通誘導、添乗警備など幅広い業務を担当しました。

セコムの飛躍のきっかけとなった東京1964大会への“恩返し”という想いで臨んだ今大会。無事に警備を完遂できたこの経験・自信をレガシーとして、さらなる「安全・安心」の提供に取り組んでいきます。

報道関係者からのお問い合わせ
セコム株式会社 コーポレート広報部 井踏、竹内
TEL: 03-5775-8210 E-mail: press@secom.co.jp